

2 級 損 害 保 険 登 録 鑑 定 人

建 築

試 験 問 題 用 紙

(2026年7月)

注 意 事 項

1. 試験責任者の指示があるまで開かないでください。
2. 解答用紙は試験問題用紙の最初の頁に入っています。試験開始の合図があったら解答用紙があることを確認してください。解答用紙がない場合は直ちに申し出てください。
3. 解答用紙には受験番号、氏名、受験地を必ず記入してください。
受験番号は6桁の数字を左の欄から順に正確に記入し、その数字と同じ箇所をマークしてください。記入漏れや間違った内容をマーク・記入すると採点ができませんので、解答した内容はすべて無効（得点なし）となります。また、解答を解答用紙以外に記入しても無効となります。
4. 解答はすべて解答用紙に記入し、解答用紙のみ提出してください。問題用紙は持ち帰って結構です。
5. 解答は正誤式・選択式の場合は、解答用紙の該当する問題の解答欄を塗りつぶしてください。記述式の場合は、解答用紙の該当する問題の解答欄に解答を楷書で記入してください。
6. 選択式の問題で1つの問題に指定数を超えるマークをつけた場合、その問題は超過した解答数に応じて減点または0点となります。
7. HBの鉛筆またはHBの芯を用いたシャープペンシルを使用してください。HBの鉛筆またはHBの芯を用いたシャープペンシル以外（万年筆、ボールペン、サインペン、色鉛筆等）は使用不可です。
8. 訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムで完全に消してください。消し方が不十分な場合には解答が正しく読み取れないことがあります。修正液等、プラスチック製消しゴム以外は使用不可です。
9. 解答用紙の読み取りは機械処理をしますので、折り曲げたり、汚したり、記入欄以外の余白および裏面には何も記入しないでください。
10. カンニング等の不正行為があったと認められた場合は、当該試験は不合格とし、原則としてその場で試験の中止と退室を指示され、それ以降の受験はできなくなります。
11. トイレや急な体調不良等を含め、一旦退席された場合の再入室はできませんので、ご注意ください。
12. 試験時間は正味50分です。
13. 試験問題の内容に関する質問は、いっさい受け付けません。
14. 試験時間中の私語は禁止します。
15. 資料等の使用はいっさい認められませんので、筆記用具、電卓以外はすべてしまってください。
16. 試験時間中は、携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末等の通信機能・記憶機能を有する機器の使用は、時計として使用することを含めていっさい認められませんので、あらかじめ電源を切っておいてください。
17. 「受験票」および「写真が貼付されている公的本人確認書類」は机の上の見やすいところに置いてください。
18. 問題用紙、解答用紙の印刷に乱丁・落丁があれば申し出てください。

マークシート方式による正誤式、選択式または記述式の問題です。解答は問題に応じて解答用紙の該当するマークを塗りつぶすか、または楷書で解答欄へ記入してください。

【問題 1】

次の 1～6 の記述は、建築に関する法規について述べたものです。その内容が正しいものには○で、誤っているものには×で、それぞれ答えてください。

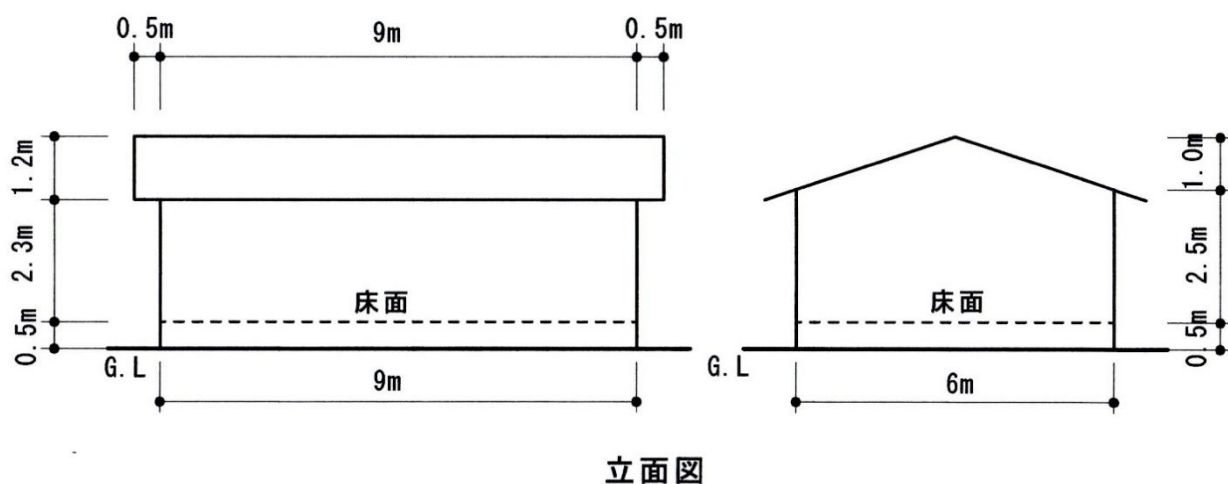
なお、本問題は、「建築法規」（実教出版社）に準拠しています。

1. 門・塀・建築設備も含めた建築物の部分は、道路内または道路に突き出して建築することができる。
2. 道路斜線制限において、建築物の敷地の地盤面が前面道路より 1 m 以上高い場合には、その前面道路面は、敷地の地盤面と前面道路面との高低差から、1 m 引いたものの $\frac{1}{2}$ だけ高い位置にあるものとみなして適用する。
3. 小学校の階段でその高さが 4 m を超えるものにあつては、高さ 4 m 以内ごとに踊場を設けなければならない。
4. 老人ホームは、すべての用途地域で建築ができる。
5. 容積率制限において、駐車場の床面積が当該建築物の延べ面積の $\frac{1}{3}$ 以内は、延べ面積に算入しない。
6. 「建築物の耐震改修の促進に関する法律」では、国土交通大臣は耐震診断および耐震改修の促進をはかるための基本方針を定め、都道府県は耐震改修促進計画を定めることとされている。

【問題2】

下図のような木造建築物の風圧力に対する必要軸組長さを求める場合、張り間方向と桁行方向の軸組算定用の見付面積について、最も適切な値を下の選択肢からそれぞれ1つずつ選び、その記号を教えてください。

なお、本問題は、「建築法規」（実教出版社）に準拠しています。



1. 張り間方向の軸組算定のための見付面積は、 m^2 である。

《選択肢》

ア. 9.9	イ. 20.55	ウ. 25.05
--------	----------	----------

2. 桁行方向の軸組算定のための見付面積は、 m^2 である。

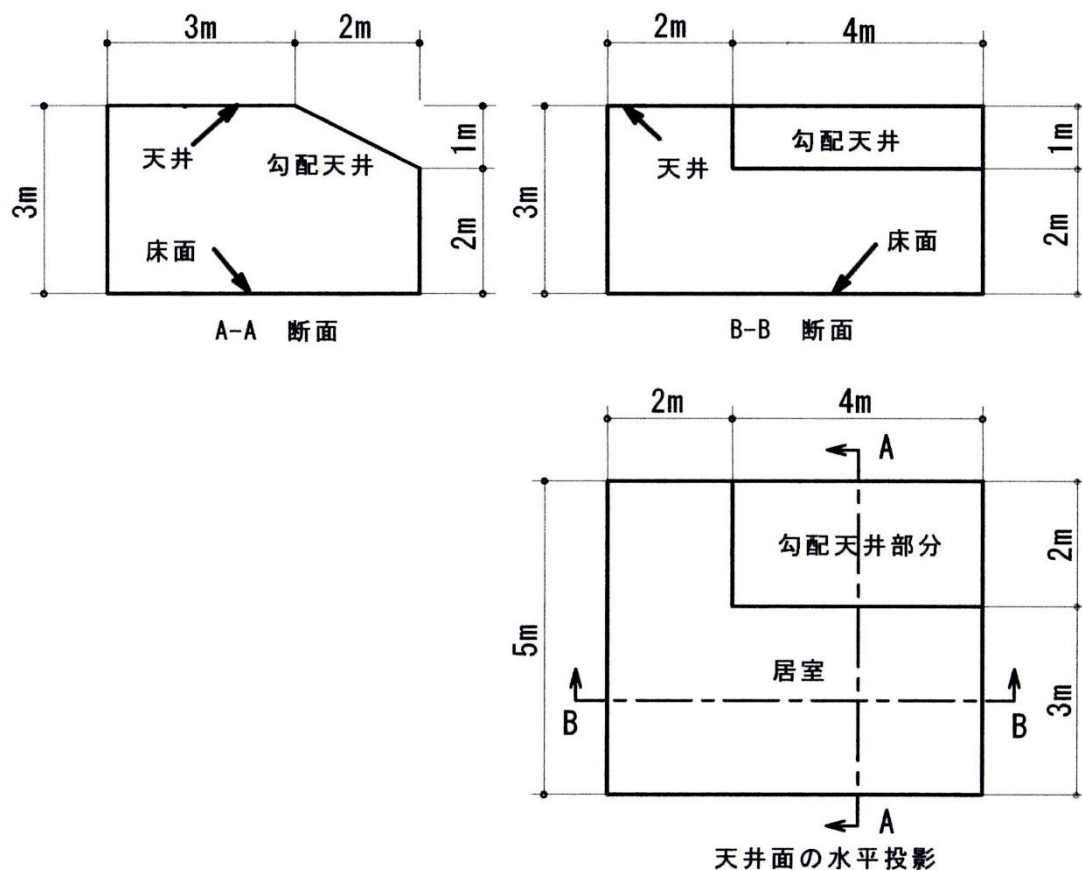
《選択肢》

ア. 9.9	イ. 11.7	ウ. 20.55
--------	---------	----------

【問題3】

下図のような傾斜した天井部分をもつ居室について、建築基準法上の天井の高さを求め、その数値を解答用紙に記入してください。なお、数値が小数点以下となるときは、小数点以下3桁を四捨五入し、小数点以下2桁まで求めてください。

なお、本問題は、「建築法規」（実教出版社）に準拠しています。



【問題 4】

次の 1～6 の記述は、建築物の給排水・衛生設備について述べたものです。その内容が正しいものには○で、誤っているものには×で、それぞれ答えてください。

なお、本問題は、「衛生・防災設備」（文部科学省）に準拠しています。

1. 病原生物に汚染されるおそれがある場合、または汚染が疑われる場合を除き、上水道の給水栓からの飲料水は、遊離残留塩素で 0.1mg/L 以上保持しなければならない。
2. 給水方式において、水道直結増圧方式は、配水管からの水をいったん受水槽に貯水し、ここから増圧ポンプで建物内の必要な箇所に給水する方式である。
3. 管トラップには、Sトラップ、Pトラップ、Uトラップ及び、わんトラップがある。
4. 原則として、通気立て管の上部は、管径を縮小せず延長し、最高位器具のあふれ縁の高さの位置で伸頂通気管に接続する。
5. 浄化槽の性能においてCODとは、汚染水に含まれる浮遊物質のことであり、水が濁っているという印象を与える浮遊物質の量で汚染度を示す。
6. さや管ヘッダ工法は、住宅の給水・給湯配管に利用され、施工性、機能性に優れており、配管施工の工期が大幅に短縮されることや、施工上の特殊技術が必要ないという利点がある。

【問題5】

次の1～5の記述は、建築物の防災、避難、消火設備について述べたものです。
 に当てはまる最も適切なものを下の選択肢からそれぞれ1つずつ選び、その記号を答えてください。

なお、本問題は、「衛生・防災設備」（文部科学省）および「建築法規」（実教出版社）に準拠しています。

1. 屋内消火栓における1号消火栓の防護範囲は、ホース接続口までの水平距離が
 1 m以下の円となるような位置に設置しなければならない。

《選択肢》

ア. 15

イ. 25

ウ. 40

2. 消防設備等のうち 2 は、消防隊の消火活動を容易にするために設置が義務付けられている設備に含まれない。

《選択肢》

ア. 屋外消火栓設備

イ. 排煙設備

ウ. 非常コンセント設備

3. 3 設備は、外部の火災から延焼を防止する設備で、 3 ヘッドを屋根、外壁、開口部に設置する。 3 ヘッドから放水される水幕により延焼を防止する。

《選択肢》

ア. スプリンクラー

イ. 水噴霧

ウ. ドレンチャ

4. 小中学校の片廊下（児童・生徒用）の場合の廊下幅は、 4 とする。

《選択肢》

ア. 1.6m以上

イ. 1.8m以上

ウ. 2.3m以上

5. 建築基準法上、 5 は、その構造および床面積に関係なく内装制限を受ける。

《選択肢》

ア. 学校

イ. 自動車修理工場

ウ. 百貨店

【問題6】

次の1～5の記述は、建築環境について述べたものです。その内容が正しいものには○で、誤っているものには×で、それぞれ答えてください。

なお、本問題は、「設備計画」（文部科学省）に準拠しています。

1. 寒冷地では、地温が下がって土壌が凍結し、建築物や地中配管が損傷することがあるので凍結面より上に施工する。
2. 北緯 35° 地点での直達日射量は建築物の部位及び季節によって異なり、夏至時における直達日射量は、東西南北の壁面では南面が一番多い。
3. 地熱利用には、50m以上深く、年間を通して温度変化が少ない地中熱を利用する方法がある。
4. 人間の耳に聞こえる周波数の範囲は、一般に 100～10,000H z である。
5. 昼光率は、「室内のある水平面の照度[lx]÷屋外の全天空照度[lx]×100[%]」で求められる。

【問題 7】

次の 1～5 の記述は、各構造の建築材料について述べたものです。□ に当てはまる最も適切なものを下の選択肢からそれぞれ 1 つずつ選び、その記号を教えてください。

なお、本問題は、「建築構造」（実教出版社）に準拠しています。

1. 下図は、鉄筋コンクリート構造に使用する鉄筋の一種で □ 1 □ である。



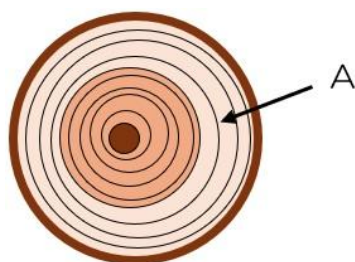
《選択肢》

ア. 竹節式鉄筋

イ. クロム系鉄筋

ウ. ねじ式鉄筋

2. 下図の木材の A の部分は、□ 2 □ である。



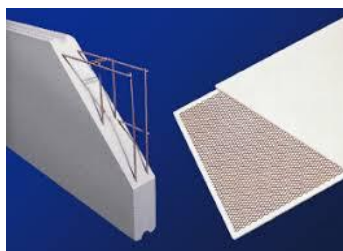
《選択肢》

ア. 心材

イ. 辺材

ウ. 形成層

3. 下図は、鉄筋コンクリート構造の間仕切り壁などに使用される □ 3 □ である。



《選択肢》

ア. サンドイッチパネル

イ. ALCパネル

ウ. デッキプレート

4. 軽量形鋼のうち、下図は **4** である。



《選択肢》

ア. リップ溝形鋼

イ. 軽溝形鋼

ウ. 溝形鋼

5. 下図のようなコンクリートの表面に現れる欠陥は、 **5** である。



《選択肢》

ア. ピット

イ. コールドジョイント

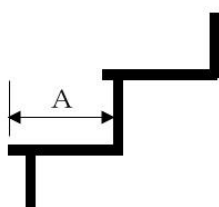
ウ. 豆板

【問題 8】

次の 1～8 の記述は、木構造について述べたものです。その内容が正しいものには○で、誤っているものには×で、それぞれ答えてください。

なお、本問題は、「建築構造」（実教出版社）に準拠しています。

1. 梁や桁を支える柱の間隔が大きく、途中で梁などを受ける場合は、部材幅を大きくするか胴貫で補強する。
2. 根太を用いない構法では、1m間隔以下で碁盤目状に床梁を設けた上に 15mm以上の合板で床組とする。
3. 間柱は、柱と柱の間に壁の下地として約 45 c m間隔で設け、土台と桁に取り付ける。
4. 和小屋組における軒桁は、京ろ組では小屋梁の下に、折置組では小屋梁の上に配置する。
5. 階段の「踏面」とは、下図Aに示す段鼻から、け込み板までの部分の寸法のことである。



6. 屋根端部の軒どいは、雨水の流れを考慮し、たてどいに向かって $\frac{1}{200}$ 以上の勾配をつける。
7. 床のフローリングボードをさねはぎとする場合は、釘を用いず接着剤のみで施工する。
8. 木造枠組壁構法の耐力壁線に囲まれた部分の面積は、40 m²以下とする。

【問題 9】

次の 1～9 の記述は、鉄筋コンクリート構造について述べたものです。その内容が最も適切なものを 3 つ選び、その番号を答えてください。

なお、本問題は、「建築構造」（実教出版社）に準拠しています。

1. 鋼杭は、100 年で 5mm 程度の腐食を考慮し、厚めの鋼材を用いるのが一般的である。
2. 床スラブが広くなる場合は、大梁の幅を大きくとり、床スラブを支持する。
3. 構造規模や形式の異なる建築物の接続部分は、エキスパンションジョイントとする。
4. 異形鉄筋において、重ね継手として可能な範囲は、D 3 8 以下までであり、必ずガス圧接などとしなければならないのは、太径の D 4 1 以上である。
5. 大梁のあばら筋間隔は、D 1 0 の異形鉄筋の場合、梁せいの $\frac{1}{3}$ 以下かつ 30 c m 以下とする。
6. 外壁をモルタル塗りとする場合、塗厚は、12mm～30mm 程度で仕上げる人が多い。
7. 吊天井では、天井のふところが 1 m の場合、吊ボルトの水平補強・斜め補強を行う必要がある。
8. 階段の段鼻は、同じ場所がくり返し踏まれることが多く、耐摩耗性が要求される。
9. 壁式プレキャスト鉄筋コンクリート構造は、工期の短縮と構造の一体性の向上が図れる。

【問題 10】

次の 1～5 の記述は、鋼構造について述べたものです。その内容が正しいものには○で、誤っているものには×で、それぞれ答えてください。

なお、本問題は、「建築構造」（実教出版社）に準拠しています。

1. 高力ボルト接合の縁端距離は、長すぎるとその部分が変形や破断するおそれがあり、短すぎると鋼材がそってすきまができ、内部にさびが生じるおそれがある。
2. 柱と梁の仕口に厚肉の鋼管や角形鋼管の柱を用いて H 形鋼の梁を接合する場合は、ダイアフラムが不要となる。
3. ブレース構造を用いる骨組では、桁行方向にラーメン構造・梁間方向にブレース構造とするのが一般的である。
4. H 形鋼は、主にせん断力を負担するウェブの座屈を防止するために、必要に応じてスチフナーを設ける。
5. 軽量鋼構造の場合、工場加工された軽量鉄骨部材の接合は、工場・現場とも高力ボルトによることが多い。

【問題 11】

次の 1～3 の記述は、単位の換算について述べたものです。□ に当てはまる正確な数値を解答用紙に記入してください。

なお、本問題は、「建築構造設計」および「建築構造」（実教出版社）に準拠しています。

1. 壁芯寸法で計算した場合の 6 畳の広さは、□ **1** m^2 である。ただし、柱配置の基準間隔を関東間として、1 間を $1,820\text{mm}$ とし、数値が小数点以下となるときは、小数点以下 3 桁を四捨五入し、小数点以下 2 桁まで求めてください。
2. 無重力空間にある質量 60 kg に、水平方向に 1 m/s^2 の加速度を与えるのに必要な力の大きさは、□ **2** N である。
3. 普通コンクリートの圧縮許容応力度が 8 N/mm^2 の場合、□ **3** kN/cm^2 である。

【問題 12】

次の 1～5 の記述は、建築物の耐久性や強さを維持または向上させる内容について述べたものです。□ に当てはまる最も適切なものを下の選択肢からそれぞれ 1 つずつ選び、その記号を答えてください。

なお、本問題は、「建築構造」（実教出版社）に準拠しています。

1. 木構造のべた基礎では、床下の換気のために基礎と土台の間にねこ土台を入れ、土台の長さ 1 m あたり面積 □ **1** □ 以上の換気口となるようにして防湿対策を施す。

《選択肢》

ア. 60 c m^2

イ. 120 c m^2

ウ. 300 c m^2

2. 鉄筋コンクリート構造に用いる高強度コンクリートは、火熱による爆裂を防ぐために □ **2** □ を混入することもある。

《選択肢》

ア. シリカ質珪物

イ. アルカリ骨材

ウ. 細かな繊維や樹脂

3. 鉄筋コンクリート構造の柱と梁の仕口部は、必ず □ **3** □ を配筋して、せん断力に抵抗するとともに主筋の位置を固定する。

《選択肢》

ア. 帯筋

イ. あばら筋

ウ. 幅止め筋

4. 鉄筋コンクリート構造の床スラブでは、上端筋、下端筋ともに鉄筋を直交させて格子状に配筋し、□ **4** □ の鉄筋をコンクリートの表面側に配置して、おもに曲げモーメントに抵抗するように配筋する。

《選択肢》

ア. 中央部

イ. 周辺部

ウ. 短辺方向

5. 鋼構造の外壁仕上材に ALC パネルを用いる場合、パネルが回転可能となり地震などの横揺れに追随することができる □ **5** □ が多く用いられている。

《選択肢》

ア. マリオン方式

イ. パネル方式

ウ. ロッキング構法

【問題 13】

次の 1～9 の記述は、建築施工について述べたものです。その内容が正しいものには○で、誤っているものには×で、それぞれ答えてください。

なお、本問題は、「建築施工」（実教出版社）に準拠しています。

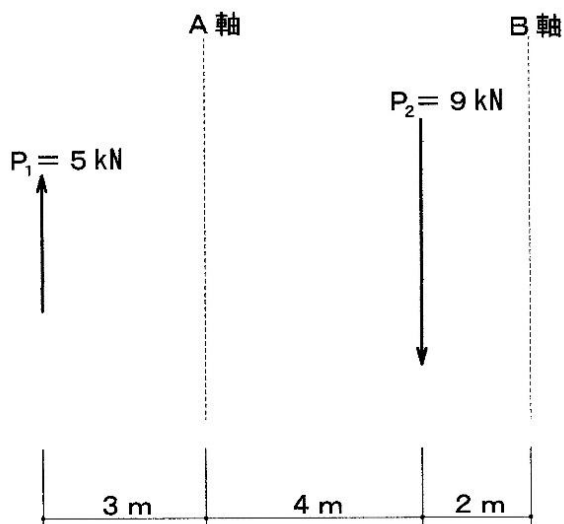
1. 杭工法の種類は、既製杭工法、場所打ちコンクリート杭工法とバイブロフローテーション工法がある。
2. 木構造のべた基礎工事では、型枠や捨コンクリートの表面に水湿しをしてからコンクリートを打ち込む。
3. 木構造の母屋の墨付けにあたっては、継手の位置を部材に生じる力の小さい箇所とし、平行する部材の継手位置をそろえる。
4. 木構造の屋根工事では、瓦葺・住宅屋根用化粧スレート葺・金属板葺などの下葺として一般的にアスファルトルーフィング葺が用いられ、重ね幅は、横方向、水上方向ともに 50mm 以上とする。
5. 鉄筋コンクリート構造の型枠工事にあたっての計画では、転用型枠を多くし、現場合せ型枠部分は少なくする。
6. 鉄筋コンクリート構造のコンクリート工事では、打継ぎのコンクリート部分は、散水などにより湿潤にしておき、乾かないうちに次のコンクリートを型枠へ充填し、振動機を用いて締固めを行う。
7. 鋼構造の建方では、ブラケット形式で接合する場合、柱の建込の後、梁を所定の位置に納め、添板を取付け、本締め用の高力ボルトではなく、同じ軸径の六角ボルトとナットを仮ボルトとして使用する。
8. 鋼構造の工事現場で行う溶接の場合、被覆アーク溶接は、設備が簡単なため移動が容易であり、風の影響を受けにくい。溶接をする速度は、ガスシールドアーク溶接の半分以下である。
9. 建設リサイクル法では、資源の有効な利用の確保および廃棄物の適正な処理をはかることが制定されているが、特定建設資材廃棄物は、再資源として使用することはできない。

【問題 14】

下図のような P_1 と P_2 の力を、平行な A 軸と B 軸に分解した P_A と P_B の大きさについて最も適切なものを下の選択肢からそれぞれ 1 つずつ選び、その記号を教えてください。

ただし、上向きの力は「+」、下向きの力は「-」で表します。

なお、本問題は、「建築構造設計」（実教出版社）に準拠しています。



1. P_A の大きさ

《選択肢》

ア. 3.5 k N	イ. 4.5 k N	ウ. -7.5 k N
------------	------------	-------------

2. P_B の大きさ

《選択肢》

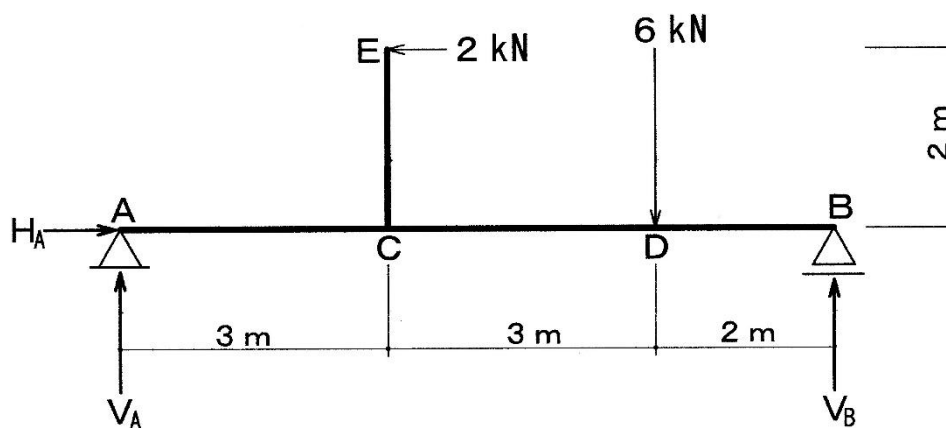
ア. 4.5 k N	イ. -4.5 k N	ウ. -8.5 k N
------------	-------------	-------------

【問題 15】

下図のような2つの集中荷重が作用する単純梁と片持梁系ラーメンが複合した梁について、最も適切な反力 V_A 、 V_B の大きさ、最大曲げモーメントの大きさを下の選択肢からそれぞれ1つずつ選び、その記号を教えてください。

ただし、曲げモーメントは時計回りを「+」とします。

なお、本問題は、「建築構造設計」（実教出版社）に準拠しています。



1. 反力 V_A の大きさ

《選択肢》

ア. 1 k N	イ. 2 k N	ウ. 2.75 k N
----------	----------	-------------

2. 反力 V_B の大きさ

《選択肢》

ア. 0.25 k N	イ. 3.25 k N	ウ. 4 k N
-------------	-------------	----------

3. 最大曲げモーメントの大きさ

《選択肢》

ア. 4 k N・m	イ. 6 k N・m	ウ. 8 k N・m
------------	------------	------------

<MEMO>